

科目	作業療法概論	担当	坂井 一也	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

作業療法士を目指す学生が、作業療法の発展過程を理解することで作業療法の役割を学ぶ。そして、現在作業療法(士)に求められている課題と今後の展望を理解する。受講者は、①作業療法の歴史を説明できるようになる、②作業療法の特徴(作業活動)とその役割を説明できるようになる、③各対象領域での作業療法について説明できるようになることを目標とする。

**【履修注意】**

毎回出席を原則とする。  
自ら進んで文献に目を通す。なお、予定変更の場合もある。

**【評価方法】**

出席・授業態度を考慮し、試験とレポートを総合して評定する。

**【試験について】**

記述試験

再試験対象者の条件: 評価に基づき40点以上60点未満

**【予習・復習】**

予習・復習による積極的な授業参加を期待する。

**【教科書】**

書籍名: 作業療法学全書 改訂第3版 第1巻 作業療法概論 著者: 杉原素子 編集 出版社: 協同医書

**【参考書】**

授業中に適宜紹介する。ビデオと配布資料を使用する。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	作業療法概論①	作業療法の特徴・作業療法の定義・法的位置づけ・職域
2	作業療法概論②	作業療法の特徴・作業活動の分類・意味ある作業活動
3	作業療法概論③	作業療法の歴史・精神障害・身体障害・発達障害
4	作業療法概論④	作業療法の歴史・精神障害・身体障害・発達障害
5	作業療法概論⑤	作業療法の歴史・精神障害・身体障害・発達障害
6	作業療法概論⑥	ADL・IADL(APDL)・QOL・ICF
7	作業療法概論⑦	作業療法・評価・治療と訓練過程
8	作業療法概論⑧	前半の復習・確認・まとめ
9	作業療法概論⑨(富山)	リハビリテーション・作業療法・役割
10	作業療法概論⑩(富山)	身体障害領域・作業療法・役割
11	作業療法概論⑪(富山)	身体障害領域・作業療法・役割
12	作業療法概論⑫(富山)	地域作業療法・役割
13	作業療法概論⑬	精神障害領域・作業療法・役割
14	作業療法概論⑭	作業療法・倫理規定・管理と運営
15	作業療法概論⑮	保健・医療・福祉制度・作業療法・今後の課題
16	期末試験	15回の復習・確認・総まとめ